

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年11月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。2021年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年11月度ギャラクシー賞月間賞

テレメンタリー2020「介護崩壊～救えなかったクラスター～」

11月8日放送 4:30～5:00 北海道テレビ放送

コロナ禍を扱う番組だが、介護老人保健施設（老健）という施設が抱える問題点とそこから派生した行政の縦割り意識からくる硬直の構造を浮き彫りにしつつ、さらに現場の医療・介護関係者たちが共同作業で問題を解決し、同様の施設での再発防止にまで挑んでいくところを描いた構成がすばらしい。

関ジャム完全燃SHOW「一流プロデューサーが証言!! 間近でみた筒美京平のすごさ」

11月15日放送 23:00～23:55 テレビ朝日

一緒に仕事をした経験があったり、大きな影響を受けたりした音楽プロデューサーたちが、亡くなった筒美京平の音楽的魅力を解き明かす。筒美の作曲・編曲術を実際の楽曲から具体的ポイントを示しながら明らかにしていくところがとても面白く、引き込まれた。この番組ならではの深掘りの良さが最大限に生かされた回だった。

「“イマジジン”は生きている ジョンとヨーコからのメッセージ」

11月21日放送 21:00～22:30 日本放送協会 テムジン

ジョン・レノンとオノ・ヨーコの軌跡をたどりつつ、『イマジジン』が誕生した経緯を明らかにする。だが単なる歴史の一コマとしてではなく、『イマジジン』が今だからこそ必要な曲であるというメッセージが明確に伝わってくる。貴重な映像、淡々としながらも力強さが感じられる全体の構成や井口理のナレーションもすばらしく、見応え十分。

土曜プレミアム「まつも to なかい～マッチングな夜～」

11月21日放送 21:00～23:10 フジテレビジョン

松本人志と中居正広が“会わせてみたい人”をマッチング。見どころを押しつけるテロップやワイプ、CMまたぎのあおり映像などの昨今の手法から離れたテレビの原点が逆に新しく、広々と自由な画面に甲本ヒロト×菅田将暉ら4組の対談が躍動した。送り手の覚悟が脱予定調和を引き寄せ、読後感の異なる4通りの見応えと感動があった。